

平成 21 年度磐田市文化財保護審議会天然記念物部会議事要録

1. 日 時 平成 22 年 3 月 18 日 (木) 13:30 ~ 15:30
2. 場 所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階研修室
3. 出席者 天然記念物部会委員 4 名 (芹澤部会長、西東委員、高橋委員、藤澤委員)
教育委員会事務局職員 3 名 (早澤課長補佐、竹内係長、神谷)
4. 傍聴人 なし
5. 会議要旨

1) 議事

(1) 21 年度天然記念物関連協議・調査について

〔事務局説明〕

- ・市指定文化財須賀神社クスについて、枯枝落下の危険性があるため、自治会より伐採について協議あり。平成 21 年 7 月 19 日に現地調査を行い、平成 22 年 3 月 4 日に造園業者による枯枝処理を行った。
- ・平成 22 年 3 月 12 日、省光寺イチョウほか樹木現況調査ため、現地調査を行った。

(2) 熊野の長フジの管理について

〔事務局説明〕

- ・今年度は指導いただいた内容で薬剤散布を行って、フジツボミタマバエの被害はほぼなかった。カミキリムシの被害については薬剤の効果は不明だが、被害は拡大していないと思われる。
- ・フジこぶ病の治療は 2 月に行った。今まで治療を行ったところについて新たなものは出ていないので、ある程度治療の成果が上がっているように思われる。

〔主な意見〕

- ・作業する中でカミキリムシはだいぶ減ったように思われる。
- ・フジこぶ病を治療する時はバクテリアがうつるので 1 回 1 回切除する刃物も消毒するように。
- ・土壌の水はけが悪く土が腐っている。水はけをよくするかできなければ木を上げるしかない。根を掘りあげることができないなら、現在の柵の上にもう一段柵を作り、枝をその上に這わせ、柵上げができた後、根の部分に盛り土を行う作業をし、排水ができるようにする。
- ・2 月に肥料をやっているが、雨で土が発酵するのでもう少し早い時期にやったほうがよい。

(3) 省光寺のイチョウについて

〔部会長報告〕

- ・形もすばらしい木であるが上部が枯れて傷んでいる。樹齢は 200 年以上ある。保護管理をきちんとするよう助言する必要がある。

2) 現地視察 (省光寺：イチョウ 行興寺：熊野の長フジ)